

# 百の主張より一つの行動

教育

## 小学校アルマイト食器の見直しを実現

名古屋市内の小学校では、給食を盛り付ける食器に、全国的にはほとんど使われなくなった金属製アルマイト食器が使われています。

アルマイトの食器は、熱の伝わり方が早いので、汁物を入れた際に熱くて持てず、磁器や陶器の茶碗のように、糸底を手で支え、茶碗の縁に指を正しく置いて、食器を持つことができません。そのため、「ひっかけ指」と言うそうですが、正しくお茶碗をもてない子どもたちが増えています。

現在、名古屋市内の小学校の全児童11万760人のうち、半数近く43パーセントの4万8千60人が、未だにアルマイト製食器を使っています。今後も熱くて持てないアルマイト製食器を使わせ続けるつもりなのか、見解を尋ねました。教育委員会からの答弁は、やるのかやらないうのか、はっきりしなかったため、市長に決断を強く迫りましたところ、



市長から、平成28年の4月から置き換えるとの答弁がありました。

名古屋市の市立小学校の約4割で給食に使われるアルマイト（軽金属）製食器。汁物をいれると全体が熱くなり、持てなくなると不評という。河村たかし市長は27日の市議会で「名古屋は瀬戸物でやらないかん」と述べ、来春の切り替えを表明した。「茶わんを正しく持てなくなると指摘し、切り替えを求めた」と記載。

アルマイト製切り替え

河村市長が表明

浅井正仁（市議・自民）に答えた。  
河村市長は「瀬戸の地場産業も苦しんでいる。名古屋の街を支え陶磁器産業は大事だ」と語る  
教委とは食い違う。  
ただ、5年かけて樹脂食器などへ順次切り替える方針を示した市  
河村市長は「瀬戸の地場産業も苦しんでいる。名古屋の街を支え陶磁器産業は大事だ」と語る  
教委とは食い違う。  
ただ、5年かけて樹脂食器などへ順次切り替える方針を示した市

平成27年11月28日 朝日新聞

給食の金属食器を陶磁器に  
市長、総入れ替えアイデア披露

平成27年11月28日 中日新聞

平成28年1月1日発行



# あさいまさ 正仁ひと

あさい正仁  
特集号

発行所：自由民主党本部  
郵便番号：100-8910  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話：03-3581-6211 代表

中川区の皆様、こんにちは。

わが国を取り巻く国際情勢が大きく変化する中、課題が山積みであった激動の27年も終わり、早いもので平成も28年になりました。

平成生まれの方が、社会の中心として活躍する時代がやってきた訳ですが、この28年間を振り返ると、少子高齢化の進展など、過去の経験だけでは対処できない様々な課題が、次から次へと生じる時代になっています。

例えば、名古屋に目を転じてみると、平成25年に私が議会で質問した敬老バスの存続問題があります。高齢者が増える中、安易に負担金を値上げするだけでは、誰もバスを受け取らなくなります。

一方、財源の問題もあり、持続可能な制度となるようにしなければなりません。この問題を解決する第一歩として、様々なデータを集め、多様な割引なども実現できる敬老バスのICカード化を進めるよう提案しましたが、28年にはいよいよ実現することとなります。

私は、こうした課題から目をそらさず事実を市民の皆さんに伝え、市民の皆さんと共に考え、実行していくことが求められているのではないかと感じ、地元中川区で活動しています。

今回は、私の名古屋市政に対する最近の取り組みを、皆様にお知らせしたいと思います。

「汗と正直さが報われる社会をつくるために！」

## 草津温泉 ホテル桜井

日本の温泉100選  
12年不動の連続1位

世界遺産  
富岡製糸場

早めのホテル到着♪  
湯ったりのんびり温泉満喫!

お一人様

23,000円 平成28年  
3月27日(日)~28日(月) 1泊2日

## 南信州さくらんぼ狩り

園内食べ放題!!

食べ放題は昼食前の  
午前中です!!

8,000円 平成28年  
6月26日(日) 昼食はイメージ  
日帰り

お問い合わせは

あさい正仁後援会事務所まで

〒454-0927 名古屋市中川区打中1-176  
TEL (052) 363-1157  
浅井マンション1階

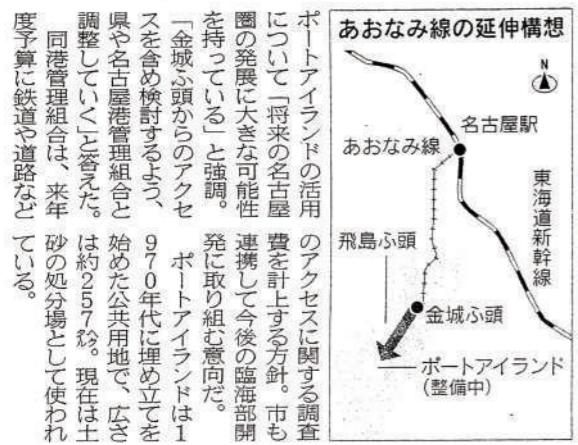
未来

## ポートアイランドのアクセスを検討

名古屋市は27日、名古屋港で整備が進む人工島「ポートアイランド」を、金城ふ頭（同市港区）など鉄道で結ぶ計画を検討することを明らかにしました。名古屋駅と金城ふ頭を経由して、愛知県や名古屋港管理組合と今後調整するとの本議会で、浅井正仁市議（自民）の質問に、黒田昌義住宅都市局長が答えた。

### あおなみ線の延伸検討

名古屋市 金城ふ頭から人工島まで



平成27年11月27日 日経新聞

福祉

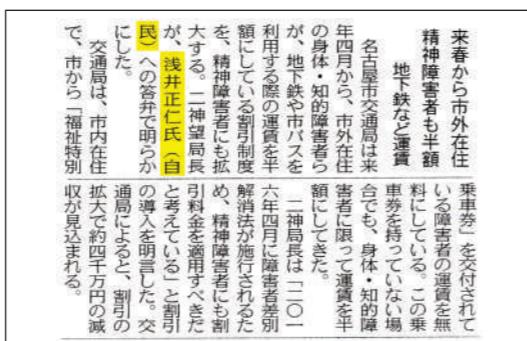
## 精神障害者の方にも、地下鉄・市バスの割引拡大

名古屋市では、福祉特別乗車券と呼ばれる乗車券があり、市内在住でこの乗車券をお持ちの方は、市バス・地下鉄に無料で乗車することができます。また、市外の方等、この福祉特別乗車券をお持ちでない方であっても身体・知的障害者は、運賃が半額となるのに対し、精神障害者の方については、市バス・地下鉄に乗車した場合には、割引にはなりませんでした。

こうした中、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とした障害者差別解消法が、平成28年4月から施行されます。法の趣旨にもあるように、健常者と障害のある方の間で格差があつてはならないのは当然ですが、障害をお持ちの方の間でも、障害の種別を理由とする格差はあつてはならない訳です。

そこで、交通局に対し、精神障害者の方の割引について質問したところ、「法の趣旨を踏まえ、精神障害者についても平成28年4月から割引を実施したい」との答弁があり、

名古屋市で日本初の割引が実現することとなりました。



平成27年9月18日 中日新聞



平成27年9月18日 朝日新聞

日本初  
の実現!

## まさひとの市政レポート

安心・安全

### スプレー缶の捨て方をより安全なものへ改善

ヘアスプレー、カセット式ガスボンベには、可燃性のガスが使われており、これらを捨てる際に、缶の中にガスが残っていると、爆発したり、ゴミ収集車が火災を引き起こすという事故につながるため、名古屋市では、中身を使いきった後、風通しの良いところで、缶に穴を開けて捨てて下さいと市民にお願いしています。

しかし、缶に穴を開けたところ、内容物である可燃性ガスに引火して、爆発、ケガをするという、大変危ない事例が全国で発生しており、名古屋市でも25年度に5件、26年度には8件のスプレー缶による火災事故が発生しました。

穴を開けずに捨てるよう取り扱いを改めた自治体もあるため、名古屋市でも、この危険な取り扱いを改めるべきではないかと環境局に迫りました。

市長からは、穴を開けるのは危ないので、穴を開けないように早速指示するとの発言があり、

名古屋でも、準備が整い次第穴を開けずに捨てることになります。

